



これまでの経験を活かして

被災地で移動・外出にお困りの方を支援します



💡 私たちはこんなことができます



病院、学校、
仮設風呂等へ
人を運びます

支援物資、
家財等の
物を運び
ます



原則無料
です

被災地での
送迎
ノウハウを
提供
します



私たちの
ネットワークで
全国に
支援を
呼びかけます



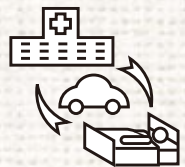
💡 具体的には…

1 外出のニーズを把握します

- ▶ 災害ボランティアセンターで移動が難しい方のご相談に乗ります
- ▶ 避難所（福祉避難所含む）で移動のお困りごとを聞き取ります
- ▶ 関係団体と現地会議等で移動のお困りごとについて話し合います

2 フェーズごとに送迎ニーズに応えます

- ▶ これまでの災害では、⇒体調を崩した人等の病院送迎や自衛隊の仮設風呂への送迎⇒役所での手続きや買い物のための送迎⇒避難所から「みなし仮設住宅」に移るための住居探しといった活動を行いました



3 地元の仲間を探します



- ▶ 活動の中心となる地域の仲間や団体を探します
- ▶ 福祉施設の送迎車両や、協力してくださる方のマイカー等使える車を探します
- ▶ 運転や介助等を手伝ってくれる地域の仲間を探します
- ▶ 私たちのネットワークを通じて近隣や全国から手伝ってくれる仲間を募ります

4 活動の運営を手伝います



- ▶ 地域の仲間を中心に活動を立ち上げます
- ▶ 私たちの運行管理や送迎のノウハウを提供します
- ▶ 日々の送迎活動の広報や運営をお手伝いします

5 復興後の活動を応援します

- ▶ 持続可能な活動にするための知恵を提供します
- ▶ 地元自治体や関係機関との調整のお手伝いをします



2011年～ 東日本大震災

■特定非営利活動法人 移動支援Rera <http://npo-rera.org/>

2011年3月より、札幌市のNPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、社会福祉法人札幌協働福祉会を中心に、全国の多くの支援団体と共に宮城県石巻市で支援活動を始めました。当初は泥出しや物資整理等、様々な支援活動を行っていましたが、4月頃より移動支援を専門とした移送チーム『災害移動支援ボランティアRera』としての活動をスタートさせました。石巻地区は宮城県でも特に被害が大きく、水没や流失等で県全体の約半数、6万台もの車が被害を受けました。私たちは、札幌市と福井県からの支援で届いた福祉車両を使用して、障害者や高齢者のほかにも移動手段を失った全ての住民の方の送迎を行っていました。(HPより抜粋)

多くの県外ボランティアの協力や、国内外からの寄付金や助成金、車両提供等を受けて、医療機関等への送迎を続け、2013年にNPO法人化。地域の活動として現在も継続しています。2021年度現在、石巻市・東松島市・女川町在住の移動困難な人を対象に、医療機関等への送迎や買い物やお茶っこ等にみんなで出かける「付添つきお出かけ送迎」等を実施しています。

災害発生 2011年3月11日

活動期間 2011年4月～現在

延べ利用人数 194,389人(2011年5月～)

主な活動 2022年4月現在、7台(うち、6台福祉車両)を使用し、ガソリン代実費の範囲の協力費を受け取る形で、移動が困難な人を医療機関等へ送迎



2015年～ 関東東北豪雨

■認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ <http://www.npocommons.org/>

2015年9月10日の豪雨により茨城県常総市で鬼怒川の大規模洪水が発生。同17日からNPOの中間支援組織の茨城NPOセンター・コモンズが助け合いセンターJUNTOS(ジュントス)の活動を開始しました。10月7日に、Reraやももくり送迎基金等の本団体関係者の協力により「JUNTOS移動支援」が活動を始めました。2017年には、地元主体の助け合い組織となり月会費2,000円で送迎を継続しています。

災害発生 2015年9月10日

活動期間 2015年10月7日～現在

延べ利用人数 2,615人(2015年10月～16年6月)

主な活動 無償送迎サービス&付添支援

ボランティア登録者 75人(2016年6月)



体的な支援の例～

2016年

熊本地震

■熊本県高齢者障害者福祉生活協同組合 <http://fukusi-seikyo.com/>

2016年4月に熊本県を中心に震度7が2回、6強が2回、6弱が3回の大きな地震が発生し、死者273人、負傷者2,809人の大きな被害をもたらしました。緊急に開設した福祉避難所（熊本県障がい者福祉センター・熊本市東区長嶺）に拠点を置き、ももくり送迎基金及び全国移動サービスネットワークの協力のもと、3～4人体制で（送迎スタッフ含む）車両2台で対応。コーディネーターが外出専用携帯電話を持ち、予約を受けて配車計画を立てました。送迎サービスの告知は、チラシを作成し配布しました。

災害発生 【震度7】(前震)2016年4月14日21:26、
(本震)4月16日1:25

活動期間 2016年5月13日～6月30日

延べ出動回数 246回

主な活動 無償送迎サービス&付添支援

【送迎】買い物・通院・役所・日帰り温泉施設 【引越支援】避難所→仮設住宅・自宅、荷物運搬



2018年

西日本豪雨

■特定非営利活動法人 移動ネットおかやま <http://www.idonet-okayama.net/>

岡山県倉敷市真備町の中心を東西に流れる小田川の豪雨による決壊によって真備地域が水没し、多数の死傷者と真備地域の1/4以上が浸水し、水の深さは最大で4.8mにも及ぶ壊滅的な被害に見舞われました。

発災後、NPO法人移動ネットおかやまの理事を中心に「真備町水害支援送迎ボランティアの会」を結成。NPO法人かめかめ福祉移送の事務所を本部、菌公民館分館を活動拠点として、県内在住の運転ボランティア8名で活動を開始しました。

その後、復興に携わった障がい者支援のリーダーが中心となって「一般社団法人お互いさま・まびラボ」を立ち上げて、取り組みを引き継ぎ、「お互いさまセンターまび」として活動が続いています。

真備町水害支援 送迎ボランティア
利用者募集

真備町水害により被災された方の近所ボランティアサービスを始めましたのでご利用ください。



- ☆運行区域と用途 真備町内及び倉敷市内への通院買い物等のご利用
- ☆利用対象者 真備町水害の被災者
- ☆乗降場所 予約時の指定場所
- ☆運行日 月曜日～土曜日
- ☆運行時間 8:30～17:00
- ☆利用料 無料

☆利用方法
完全予約制です。(送迎予約料は無料)
事前に予約をしてください。
※自費が掛かる場合は予約時にお申し出ください。
※急ぐ場合はタクシーをご利用ください。

☆申し込み方法
●電話での予約
真備町水害支援送迎ボランティアの会
担当 藤山由緒
090-7137-9385

2018年7月23日 作成

活動拠点 真備町水害支援 送迎ボランティアの会

災害発生 2018年7月6日早朝

活動期間 2018年7月9日～10月9日

延べ利用人数 515人/延べ協力者数201人

主な活動 被災者を避難所から病院、
町役場、法務局、日帰り温泉施設等に送迎



🌞 ともに動き、後押ししています

全国各地 ももくり送迎基金

阪神淡路大震災（1995年）や東日本大震災（2011年）の被災地における“移動制約者”への移動支援活動の経験から、全国移動ネット、関西 STS 連絡会、NPO 法人ゆめ風基金の共同行動（出資）で2014年3月に基金設立されました。

事業目的

- ① 被災現地連絡事務所（拠点）の確保
- ② 財政面の確立
- ③ 運転協力者の育成
- ④ 道路運送法、特例法、諸制度の整備

支援実績

● 活動支援

- ・ 関東東北豪雨：のべ移送人数 1,181 人（2015年10～12月）
- ・ 熊本地震：のべ支援出動 246 回（2016年5～7月）

● 資金支援

- ・ 関東東北豪雨：2015年
- ・ 熊本地震：2016年
- ・ 大阪府北部地震：2018年
- ・ 西日本豪雨：2018年
- ・ 台風19号被害：2019年
- ・ 令和2年7月豪雨：2020年



💡 私たちはこんな団体です

特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク

高齢者や障がい者等の移動・外出支援に取り組む団体の中間支援組織です。主な構成員は、自動車を使って非営利で要介護者・要支援者や障がい者の送迎を行う福祉有償運送の団体です。25の地域（県域）ネットワークや、研修機関、福祉タクシーの事業者など約200団体・個人が加盟しています（1998年発足、2006年NPO法人化）。法制度などに関する調査研究事業及び政策提言、相談対応、情報提供、立上げ支援、認定運転者講習の開催及びテキストの発行等を行っています。



発行元 特定非営利活動法人
全国移動サービスネットワーク（全国移動ネット）

（住所）〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-1-2
山崎ビル204号

（TEL）03-3706-0626 （FAX）03-3706-0661

（E-mail）info@zenkoku-ido.net

（HP）<https://www.zenkoku-ido.net>



このリーフレットは、朝日生命保険相互会社からの寄付を受けて作成しました。



私の名前は

です



連絡先は

です

ご相談、ご連絡等
お待ちしております！

